

# 色麻町訪問

訪問日：平成25年11月19日（火）

## 色麻町の放課後子ども教室

色麻町では、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的に、子どもたちの安全、安心な活動拠点（居場所）づくりとして、放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的に捉えた「しかまっ子クラブ」を運営しています。町内には2つの小学校があり、それぞれの校舎に「しかまっ子室」を設置し放課後の子どもたちの活動を見守っています。

主な活動内容は、子ども教室スタッフに見守られながらの「宿題への取り組み」「自由遊び」ですが、季節の行事や創作活動にも年間計画に従って積極的に取り組んでいます。

次年度には、色麻、清水の2つの小学校が統合され町内1校の小学校となります。「小学校の統合により、子ども教室と児童クラブの持ち方を再考しなければならない。」「活動場所等の物理的な課題、スタッフ確保などの人的な課題、この2つの課題を何とか解決していきたい。」などと町の社会教育課長さんから話がありました。

学校区	実施場所	運営スタッフ	活動時間	開設日数
色麻小学校区 (自由参加制)	色麻小学校 しかまっ子室	コーディネーター 1名 教育活動サポーター 4名	毎週月～金曜日実施 下校時～17:00	200日 (うち休校0日)
清水小学校区 (自由参加制)	清水小学校 しかまっ子室	コーディネーター 1名 教育活動サポーター 6名	毎週月～金曜日実施 下校時～17:00	200日 (うち休校0日)

## ☆☆しかまっ子クラブ（色麻・清水小学校放課後子ども教室）☆☆



社会教育課で情報交換を行った後、色麻小学校を訪問しました。子どもたちはスタッフさんに見守られながら宿題に真剣に取り組んでいました。宿題が終わった児童は自由遊びです。元気に校庭に出て行く児童、室内で野球盤などのゲームに取り組む児童様々ですが、子どもたちの帰る手段とどこで活動しているのかがすぐ分かるように、黒板に居場所を示すネームプレートが設置されていました。「とにかく子どもたちが元気なので、活動中にけがをしないように何回も声がけをしています。」とあるスタッフさんが話してくれました。

人なつこい色麻小の子どもたちとの別れを惜しみながら、次の訪問教室の清水小に向け出発しました。

清水小は幼稚園と小学校が同じ校舎の中に設置されています。「放課後支援についても幼稚園から小学校への連携がスムーズにできる。」と幼稚園長兼務の清水小高橋校長先生にお話いただきました。

清水小のしかまっ子室は、調理室だった部屋を改装し使用しているそうです。入り口には「ドキンちゃん」ならぬ「土禁ちゃん」の桟橋が設置されていました。手作り感があり温かみを感じます。子どもたちはスタッフさんに励まされながら、プリント学習に取り組んでいます。勉強が終わった児童はブロックで思い思いに何かを作っています。どの子どもも笑顔で活動している姿が印象に残りました。

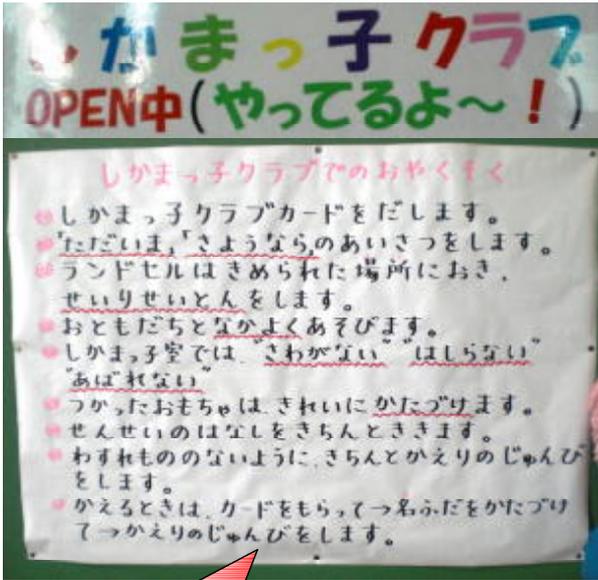
しかまっ子クラブは、子どもたちが安心して活動できる居場所であり、スタッフの皆さんの温かな声がけや眼差しによって支えられていることを強く感じました。

## しかまっ子クラブ (色麻小)



懐かし 野球盤!  
仲良く遊んでいます

宿題にも真剣に  
取り組んでいます



しかまっ子クラブの約束  
みんな守ってるかなあ?



けがしないように  
気をつけて  
遊んだよ!

## しかまっ子クラブ (清水小)

玄関には  
土禁ちゃん?!



スタッフさんが  
子ども達の様子を  
見守ります



スタッフさんが用意してくれた  
学習プリントに真剣です!

教室内の掲示板には  
大切な情報がぎっしり



温かみを感じる  
しかまっ子クラブ



写真はやっぱり  
「Vサイン」